

講義名	現代世界史		
科目区分	教養科目		
担当教員	堅田 智子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	23119

### 主題と概要

主題：「オーストリア」  
 概要：オーストリアという国に、どのようなイメージがありますか。オーストリアもドイツ語を公用語としている国ですが、日本では、隣国のドイツよりも認知されていない国かもしれません。2019年は、日本とオーストリアが正式に国交をむすんでから150周年にあたり、これを記念して、両国ではお互いの国をより深く知るために、多くの文化事業が実施されます。本授業では、「文化」をキーワードに、オーストリアの歴史や現在まで続く日本との交流について学んでいきます。

### 到達目標

暗記型の「歴史」から脱却し、思考型の「歴史学」にふれることが、本授業での最大のねらいです。オーストリアの歴史や日本との文化交流の実態を理解し、関係史 / 交流史を学ぶことの現代的な意義を考えていきます。そして、多角的かつ国際的視点を養い、さらに日本や世界のあり方に興味をもち、主体的に考えていく姿勢を身につけてほしいと思います。  
 毎回、授業内容をふまえ、リアクションペーパーを書くことにより、みずからの考えをまとめ、他者に伝える力を養うことも、本授業でのねらいの一つです。

### 提出課題

リアクションペーパー：毎回、授業内で提示した問いに対する答え、感想、質問等を記入するリアクションペーパーの提出を求めます。  
 中間レポート：授業内で課題を提示します。中間レポートは採点の上、返却します。

### 評価の基準

リアクションペーパー（25%）、中間レポート（25%）、学期末試験（50%）を総合して、評価をします。  
 評価の基準は、1. 授業内容を理解し、到達目標に達しているか、2. 主体的に問題意識をもち、それを論理的な文章によって表現し、他者に伝えることができるか、という2点です。  
 中間レポートおよび学期末試験の課題は、授業内で提示します。なお、授業回数全15回のうち、4回以上欠席した場合、中間レポートを提出していない場合は、原則として評価の対象としません。

### 履修にあたっての注意・助言他

授業中、スマートフォンや携帯電話は、鞆の中にしまいましょう。私語は慎み、大学生として良識ある態度で授業に臨みましょう。積極的な質問や意見を歓迎します。

### 教科書

.使用しない.

### プリント資料及び参考文献

プリント資料をもとに、授業を進めていきます。プリント資料は、Ryuka Portalに掲載しますので、各自、授業前にプリントアウトし、持参してください。  
 1. 増谷英樹、古田義文編著『図説 オーストリアの歴史』河出書房、2011年。  
 2. 増谷英樹『図説 ウィーンの歴史』河出書房、2016年。  
 3. 広瀬佳一、今井頭編著『ウィーン・オーストリアを知るための57章』（第2版）明石書店、2011年。  
 このほか、プリント資料にも参考文献を挙げます。

### 授業計画

- 第1回 ガイダンス / 人種、民族、国民、文化から見るオーストリア
- 第2回 「歴史」と「歴史学」
- 第3回 「歴史」と「歴史学」
- 第4回 オーストリアの自然と地勢
- 第5回 他民族国家としてのオーストリア
- 第6回 オーストリアの経済・産業・観光
- 第7回 ハプスブルク帝国からオーストリア共和国へ
- 第8回 日本・オーストリア交流史 : 概説
- 第9回 日本・オーストリア交流史 : ウィーン万博における日本展示とジャポニスム
- 第10回 日本・オーストリア交流史 : ウィーンでのジャポニスム
- 第11回 文化・芸術・音楽の国オーストリア
- 第12回 過去の克服と歴史認識
- 第13回 ヨーロッパの中のオーストリア
- 第14回 まとめ
- 第15回 博物館 / 美術館見学

### 予習・復習

予習：プリント資料をあらかじめRyuka Portalに掲載しますので、プリントアウトし、目をとおしておくようにしましょう。高等学校の時に使用した世界史教科書や資料集に叙述されているオーストリアの姿、新聞やニュースなどで報道されているオーストリアの姿に関心をむけてみてください。  
 復習：プリント資料をもとに、授業内容を復習してください。

### 備考